

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 137 号 2009.9.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

木島平 圃場見学会

9月19日、長野県木島平村の堀農園にて行われた、圃場見学会に行ってきました。

稲刈りを2週間後に控え、黄金色に輝き始めた自然の田んぼは美しく、堀さんも「刈る前の一番美しい姿を見てもらえるのがうれしい」とおっしゃっていました。周りの慣行農法の田は所々倒伏していて、今年はまだ台風の被害はないはずなのに、なぜ？と聞くと、秋雨にあたって倒れ、一ヶ所倒れると将棋倒しになり、折れてしまうそうです。「穂をさわってみれば、自然の稲のしっかりしていることがわかる」とのことです。となりの慣行農法田の稲の根元と握り比べ、自然の稲のガッシリとした手応えを皆で確かめました。

また、「いいタイミングで草取りに入った所は、びっくりするほど稲の生長が良い。日陰で水のあまり来ない条件の悪い田でも、2~3回草取りに入った所は良かった。自然の田は、ちゃんとやると、ちゃんと応えてくれる」との堀さんの言葉に、6、7月の草取りに参加された方々は「自分が草取りした田がしっかり実っていて、うれしい。感動した」「手を入れた所と入れない所との違いがハッキリ分かり、もっと草取りの応援をしたいと思った」と言っていました。

生産者の苦労や田への愛情の大きさを学ぶことができた、稔りある見学会でした。(編集部 田村)



畑作交流会に参加して 弥生会農園係 渡辺大祐

9月20日、僕は第一回畑作交流会に参加しました。

数日前の天気予報では、台風上陸との予報でしたが、雲ひとつない快晴、交流会は無事に行われました。参加者は、埼玉や千葉、長野で自然農法を実施する方々で、千葉県西山さんの畑と金野さんご夫妻の畑を見学し、話し合いました。

西山さんは、千葉県の八街で自然農法に取り組まれていて、葉生姜、じゃがいも、人参などを主に生産されています。その作物たちがきれいに並び、僕たちを迎えてくれました。金野さんの



畑は千葉県佐倉にあり、3ヶ所ある畑のうち、2ヶ所を見せていただきました。きれいな畑で、作物からは、金野さんご夫妻の優しさ、仲の良さを感じられました。

僕は、今回の畑作会合の中で、生産者の方々の3つの愛を感じました。1つ目は、「作物への愛」です。この作物は、この時期、この土地柄にあっていいのかということ、まず土を見て、そして自然を感じて、考え、作物にとっての一番良い条件を導き出してらっしゃいました。

2つ目は、「生産者同志の愛」です。不思議な光景でした。第三者から見れば、生産者はライバル同志です。けれど、ここにいた人たちは違いました。「この蒔き方は発芽率がいいから、やってみたらどうか」「小松菜、ほうれん草など、葉物をもっとやればいいんじゃないか」と、自分がそこで作業をしているかのように話をされていました。また、どんな点で苦労しているか、喜びは何かなど、同じ無施肥無農薬栽培という条件で感じているものをぶつけあい、そして、自然農法の素晴らしさを多くの方に感じて欲しいという思いを共有しあっているように感じました。

3つ目の愛は「消費者への愛」です。生産者の方々は、色々な場面で、厳しいことや、苦しいこともあるとおっしゃいます。しかし、そんなときでも、「自分たちは何のために自然農法をしているか」という気持ちを思い起こし、取り組んでいるとのことでした。具体的に「何のために」という話は出ませんでした。皆さんのお話の端々から「安心安全な作物を消費者に食べてもらいたい」「自然農法は真の農法

だ。消費者の健康のため、自然農法を広げたい」という心の声が聞こえてくるようでした。

人のために、自分の生活、家庭をかけて取り組まれている皆さんの姿やお話を聞き、改めて、生産者の方々に感謝、尊敬の気持ちが湧き上がる一日でした。



自然の作物で元気満杯!

船橋市 田村忠男

今まで、私は健康には自信を持ち、何事にもチャレンジしてきたのですが、今年3月中旬、突然、腰が痛くなり、体がだるく、食欲不振となりました。食べられない状況が続く、吐きそうになるのですが、なぜか、自然のほうじ茶、卵、米、野菜だけは美味しく、体がうけつけるのです。ホットニュースで、自然農法の作物は体にパワーを与えてくれるという記事を読んではいましたが、まさにそのことを実感しました。自然農法ではない食物は吐きそうになり、食べられません。少しずつやせてきて、どうなることかと不安になり、焦りましたが、自然の卵かけごはん、ほうじ茶、自作の野菜は、私の体力を元氣いっぱい回復させてくれました。本当に感動し、感謝し、最近では会社にも自然米のお弁当を持参するようになり、自然の作物のすばらしさ、偉大さをかみしめております。

私は岡田茂吉師の農業理論にそって自然農法を始めて、13年になります。10坪の畑からスタートして、現在は50坪になりました。農家生まれの私は、小さいころから、畑や田んぼに親しんで育ちました。今年も、ナス、トマト、スイカ、ピーナツなど、たくさん作っています。これからも、自然農法の普及に、誠意をもって取り組んでいきたいと思っております。

自然の田で自分を見つめる

市川市 竹田さつ

今年から、青森にある実家の田んぼのごく一部で、およそ60坪ですが、弟に協力してもらい、自然農法の実施ができることになりました。

7月6日、一回目の草取りに行ってきました。晴天で湿度も低く、最高の気分。初めのうちは楽しみながら草取りをしていましたが、次第に疲労と喉のかきで、畦が上がっては、ため息をつき、休んでいました。投げ出したい気分にもなりました。それでも、5分休むと、また能率よくでき、朝の9時半から始めた作業も、16時ごろまでには、30坪を終えることができました。短い時間でしたが、この作業により、自然農法を継続されている方々の意思の強さを思い、頭が下がりました。反面、リスクを感じながらも、除草剤を使う現代の農業従事者の気持ちも理解できました。農作業は本当に根気と体力が必要だと思いました。

また、今回の草取りでは、自分を見つめ、至らない点を反省することができました。出発の朝、主人にとった私の行動に、娘が「お母さん、それってお父さんに対するいじめじゃない?」と言うのです。その言葉が作業中、頭の中で繰り返していました。今までをふりかえり、今の自分があるのは主人のおかげと心から思うことができました。感謝の気持ちで主人に接していこうと決め、今実行しています。

その後、足腰の痛みで3日間くらいつかったのですが、とてもすがすがしい気分になれ、自然に向き合う大切さを知りました。自然は、自分を反省させ、また、自分が進む良い方向を教えてください。



おしらせ

自然農法頒布会	10月21日(水)	鎌ヶ谷会場	11:00~15:00 (売切れ次第終了)
自然農法勉強会	10月27日(火)	昼の部 10:30~ 夜の部 19:00~	(別院講堂)
自然農法頒布会	10月31日(土)	東中野会場	10:00~ (売切れ次第終了)

無施肥無農薬栽培物の販売予定

10月3日 於:伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

きじま平自然農産:チンゲンサイ、シロナ、カキナ、煮込みトマト、きのこめし

市川生産グループ:煎茶、ほうじ茶

中島農園:ニンジン、ジャガイモ、カボチャ、エダマメ

長柄山自然農園:卵

富田善嗣さん:白米

ジョリフィーユ:カスタードプリン、マドレーヌ、いちごのロールケーキ



お問い合わせ先:編集部 針貝 FAX:03-3369-3324 e-mail:naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp